

思いをつなぐシートの目的

1. 本人・家族の意向を引出し、意思表明と意思決定する過程を支援する。
2. 支援するチームメンバーが本人・家族の意向を共有しケアにあたる。
3. 療養場所を変わる時に、次の療養場所でケアするスタッフに本人・家族の意向を伝え、本人・家族の意向に沿った継続したケアを行う。

これまでのサマリでは伝えきれなかった「本人・家族の思い」に特化したツールを作成しました。

本人・家族の了解のもと、支援者間で「本人・家族の思い」を共有し、本人と家族の意向に沿った継続したケアを行うことを目的としています。

多職種間の情報共有として役立つツールになることを期待します。

シート記入と運用方法について

- 1) 対象者の基本情報は、氏名、性別、生年月日 のみ記入する。
他の必要な情報については、サマリ等の他のシートで共有する。

- 2) 記入する対象者は？

継続した医療管理が必要な人
治療や療養上の選択が必要な人
慢性疾患で入退院を繰り返す人
進行性難病の人
終末期の人(がん・心不全等)等
上記に限らず、支援者が必要と感じた人を記入する

- 3) シートを記入するタイミングは？

日々の支援の中で、思い(意向)を確認した時に記入する。
入院時・退院時・入所時・退所時等 の療養場所を変更する時に記入する。

- 4) 医師の説明と本人・家族の受け止めと今後療養生活への思いについて

それぞれの欄に該当内容を記入する。(出来るだけ当事者のことばで表現する)
いつの時点の思いなのかわかるよう日付を記入する。
シート記入者の職種と氏名を記入する
ターミナル期にある方については、これからどのようにしたいかの欄に、
看取りの希望場所についても確認する。

- 5) シートの運用について

記入したシートはファイリングし、本人の基で保管する。
入退院等の療養場所が変わる時に、本人と一緒にシート(ファイル)を動かす。
シートの共有については、本人・家族の了解を得る。

